



KAWAI 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社河合楽器製作所
 コード番号 7952 URL <https://www.kawai.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 河合 弘隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長執行役員管理本部長 (氏名) 伊藤 照幸 TEL 053-457-1227
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	28,081	△22.9	135	△93.1	290	△84.8	△881	-
2020年3月期第2四半期	36,430	3.0	1,965	14.3	1,913	1.6	1,433	56.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △1,108百万円 (-%) 2020年3月期第2四半期 1,030百万円 (0.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△102.52	-
2020年3月期第2四半期	167.35	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	55,302		24,136		43.5	
2020年3月期	51,758		25,717		49.5	

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 24,037百万円 2020年3月期 25,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	55.00	55.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	△11.6	1,000	△66.2	1,100	△64.7	△500	-	△58.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	9,011,560株	2020年3月期	9,011,560株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	416,515株	2020年3月期	416,474株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	8,595,059株	2020年3月期2Q	8,563,843株

※当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン（E-Ship）」を導入していましたが、2019年11月29日をもって終了しております。なお、野村信託銀行株式会社（カワイ従業員持株会信託）が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりました。（2020年3月期2Q 31,250株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により急速に悪化しましたが、緊急事態宣言の解除を受け経済活動再開の動きが広がりました。個人消費は、特別定額給付金の支給などの経済政策により緩やかな回復傾向にはあるものの、コロナショック前の水準には戻っておらず、今後の感染状況によっては厳しい景気動向となることも予想されます。また世界経済は、新型コロナウイルス感染症の第2波とみられる感染拡大が始まっており、景気回復の遅れも予想され先行き不透明感が強まっております。

当社グループでも、新型コロナウイルス感染拡大による外出制限や営業自粛により、国内外ともにピアノ販売等の減少や音楽教室のレッスン休講などの影響が出ましたが、各国の規制緩和が進むなか、事業の回復に努めております。

このような経営環境のもと、巣ごもり需要により販売が好調に推移しておりますデジタルピアノの新モデル『CA59』『CA49』の発売や、新型コロナウイルスの影響によりコンサートが中止・延期となるなか「音楽を通じて前向きに明るく過ごしていただく一助になれば」という想いから、新しい形のオンライン配信コンサートを実施いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 28,081百万円（前年同期比 8,348百万円減）、営業利益は 135百万円（前年同期比 1,829百万円減益）となり、経常利益は 290百万円（前年同期比 1,623百万円減益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は 881百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益 1,433百万円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(楽器教育事業)

楽器教育事業は、ピアノについては各国政府からの外出規制や楽器店の休業命令により販売は減少しましたが、ハイブリッドピアノやデジタルピアノについては、新製品の発売や、巣ごもり需要を背景に販売が好調に推移しました。また、国内の音楽教室及び体育教室は回復基調にあるものの第1四半期での休講措置が大きく影響しました。これらの結果、売上高は 22,677百万円（前年同期比 6,402百万円減）となり、営業損失は 211百万円（前年同期は営業利益 1,367百万円）となりました。

(素材加工事業)

素材加工事業は、新型コロナウイルス感染症による供給先の生産調整に起因して、半導体関連部品や自動車内装部品の受注が減少したことなどにより、売上高は 3,919百万円（前年同期比 1,254百万円減）となり、営業利益は 423百万円（前年同期比 198百万円減益）となりました。

(その他)

その他の事業は、医療機関向けIT機器販売の受託減少などにより、売上高は 1,485百万円（前年同期比 691百万円減）となり、営業損失は 47百万円（前年同期は営業利益 28百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金の増加などにより 55,302百万円（前期末比 3,543百万円増）となりました。

負債合計は、借入金の増加などにより 31,166百万円（前期末比 5,125百万円増）となりました。

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失などにより 24,136百万円（前期末比 1,581百万円減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、ピアノ販売の復調や巣ごもり需要により世界的にデジタルピアノの販売が好調なこと、新型コロナウイルス感染症の拡大により影響しておりました音楽教室及び体育教室の生徒数に回復が見られたことなど、当第2四半期連結累計期間における業績と今後の動向を踏まえ、2020年8月6日に公表いたしました通期連結業績予想を変更いたしました。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,388	13,837
受取手形及び売掛金	6,471	7,024
商品及び製品	6,207	5,752
仕掛品	1,477	1,536
原材料及び貯蔵品	2,779	3,068
その他	1,992	2,220
貸倒引当金	△132	△141
流動資産合計	29,183	33,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,638	4,441
機械装置及び運搬具(純額)	2,022	1,914
土地	6,340	6,336
その他(純額)	1,048	1,050
有形固定資産合計	14,050	13,743
無形固定資産	819	736
投資その他の資産		
投資有価証券	5,619	5,632
繰延税金資産	670	489
その他	1,559	1,545
貸倒引当金	△143	△141
投資その他の資産合計	7,705	7,525
固定資産合計	22,575	22,004
資産合計	51,758	55,302
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365	3,191
短期借入金	5,294	5,740
未払法人税等	386	398
賞与引当金	905	994
製品保証引当金	111	111
その他	3,863	4,478
流動負債合計	14,927	14,914
固定負債		
長期借入金	700	5,878
環境対策引当金	30	30
退職給付に係る負債	9,267	9,214
資産除去債務	602	597
その他	514	532
固定負債合計	11,113	16,252
負債合計	26,041	31,166

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,122	7,122
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	18,262	16,908
自己株式	△963	△963
株主資本合計	25,679	24,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	554	564
為替換算調整勘定	△277	△544
退職給付に係る調整累計額	△339	△307
その他の包括利益累計額合計	△62	△288
非支配株主持分	100	98
純資産合計	25,717	24,136
負債純資産合計	51,758	55,302

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	36,430	28,081
売上原価	26,716	20,934
売上総利益	9,713	7,147
販売費及び一般管理費	7,747	7,012
営業利益	1,965	135
営業外収益		
受取利息	34	42
受取配当金	27	37
固定資産賃貸料	18	18
為替差益	—	81
その他	22	49
営業外収益合計	103	229
営業外費用		
支払利息	22	36
寄付金	40	19
為替差損	70	—
その他	22	18
営業外費用合計	155	74
経常利益	1,913	290
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取補償金	10	7
特別利益合計	10	7
特別損失		
固定資産除却損	7	13
感染症による損失	—	824
特別損失合計	7	838
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,917	△540
法人税等	478	339
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,438	△879
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	1
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,433	△881

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,438	△879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△145	9
為替換算調整勘定	△308	△273
退職給付に係る調整額	45	31
持分法適用会社に対する持分相当額	0	3
その他の包括利益合計	△408	△228
四半期包括利益	1,030	△1,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,027	△1,107
非支配株主に係る四半期包括利益	2	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、税金費用については原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の合理化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,079	5,173	34,253	2,176	36,430	—	36,430
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	266	266	194	461	△461	—
計	29,080	5,440	34,520	2,370	36,891	△461	36,430
セグメント利益	1,367	621	1,988	28	2,017	△51	1,965

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△51百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	楽器教育	素材加工	計				
売上高							
外部顧客への売上高	22,677	3,919	26,596	1,485	28,081	—	28,081
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	217	217	187	405	△405	—
計	22,677	4,136	26,814	1,672	28,487	△405	28,081
セグメント利益 又は損失(△)	△211	423	211	△47	164	△28	135

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連事業、金融関連事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△28百万円には、セグメント間取引消去20百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△48百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。